

所属・氏名（ 看護学部 看護学科 氏名：植田 喜久子 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 看護理論家の来日講演から の学びー理論・人生・人柄に ふれてー	共著	2020 年 3 月	サンライズ出版	著書全体の概要:来日し講演した欧米の看護論 について紹介した。 編著 城ヶ端初子、桶河華代、高島留美編著 {総ページ数:162 頁} 担当部分の概要:J. Watson の講演に基づき、 ケアリングとカリタスプロセスについて記述した。 担当部分は単著である。:ワトソン看護論の醍醐 味ー10 のカリタスプロセス、(担当ページ:pp. 110～115.)
2	(著書) リハビリテーション看護論 第3版	共著	2018 年 12 月	ヌーベルヒロカワ	著書全体の概要:看護学生を対象としたリハ ビリテーション看護の総論と各論である。 編集 中西純子、石川ふみよ (総ページ数:332 頁) 担当部分の概要:視覚障害者のリハビリテー ション看護の実際、チーム医療について記述 した。本人担当部分は、単著である:感覚障 害を持つ人のリハビリテーション看護(担当 ページ: pp. 289～296)
3	(著書) 基礎看護学テキスト 改訂第2版	共著	2015 年 1 月	南江堂	基礎看護技術やケアについて研究成果などエビ デンスとともに記述している。 編集:深井喜代子、前田ひとみ (総ページ数:528 頁) ロービジョンの定義、現状とケアの課題、ロービ ジョン者のリハビリテーション・ニーズとアセスメン ト、ケアについて概説した。本人担当部分は、 単著である:視覚障害者のケア(ロービジョンケ ア)、(担当ページ:pp. 330－337)
4	(学術論文) 成人看護学実習における学 生のルーブリックの活用状況	共著	2018 年 4 月	日本赤十字広島看 護大学紀要誌、第 18 巻、pp. 11-17	成人看護学実習における学生のルーブリックの 活用状況を明らかにし、効果的な活用を検討し た。学生が適切な目標と課題を設定するように支 援する必要がある。(共同研究につき本人担当 部分抽出不可能)共著者 鈴木香苗、中信利恵 子、松本由恵、横山奈未、山下彰子、岡田淳 子、植田喜久子)
5	(学術論文) 専門看護師のコンサルテーシ ョンに関する文献検討	共著	2018 年4月	日本赤十字広島看 護大学紀要誌、第 18 巻、pp. 19-27.	コンサルテーションに関する18文献のレビューを 行い、コンサルテーションの定義、コンサルタント の役割や能力に関する記述内容を明らかにし、 専門看護師教育課程の教育内容と方法につい て明らかにした。(共同研究につき本人担当部分 抽出不可能)共著者 山下彰子、札埜和美、戸 田由美子、植田喜久子)
6	(学術論文) 化学放射線療法を行った食 道がん患者の配偶者における 食への取り組み	共著	2017 年4月	日本赤十字広島看 護大学紀要誌、第 17 巻、pp. 19-27.	化学放射線療法後の食道がん患者の配偶者 における食への取り組みを明らかにした。配偶者は 食情報を集め、試行錯誤しながら夫の摂取状 況、言動や回復を観察、評価し続けQOLの向上 を目指していた。心理社会的な支援の必要性が 示唆された。(共同研究につき本人担当部分抽 出不可能。共著者 加藤由希子、植田喜久子、 中信利恵子)